

武蔵村山市公共施設等総合管理計画

(平成 29 年度～令和 28 年度)



平成 29 年 3 月
(令和 4 年 3 月改訂)

武蔵村山市

武蔵村山市公共施設等総合管理計画の改訂に当たって

武蔵村山市は、令和2年11月に市制施行50周年を迎えました。昭和45年11月の市政施行時に約4万1千人だった人口は、現在では約7万2千人に達するまでに至り、大きな飛躍と変貌を遂げています。

こうした発展の過程において、市民の皆様に必要な行政サービスを提供するため、学校、道路、下水道等の公共施設の整備に努めてまいりましたが、現在では多くの施設で老朽化が進行し、大規模改修や建替え、更新が必要な時期を迎えています。

全国的に少子高齢・人口減少傾向にある中、近年では本市においても少子高齢化が進行しており、市民の皆様に必要な行政サービスについては、将来にわたってこれを提供し続けるため、不断の見直しと改革を進めていかなければならない状況にあります。

また、市民の皆様が安心して公共施設を御利用いただくためには、今後ますます進行する老朽化に対し、時代のニーズにも合わせた抜本的な対策を講ずる必要があります。

こうした状況を踏まえ、本市では、公共施設の現状と将来の見通しを整理し、今後必要となる老朽化対策や公共施設の有効活用を実現するために必要な基本方針等を取りまとめた「武蔵村山市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定し、関連する諸計画も踏まえ、公共施設の適正な管理と活用に取り組んでまいりました。また、その一環として、各公共施設について、公共施設等総合管理計画に即した個別施設計画等の策定・改訂を行ってまいりました。

この度、こうした取組や個別施設計画等を反映させるとともに、新たにユニバーサルデザイン化の推進に関する方針なども加え、公共施設等総合管理計画を改訂いたしました。

今後も、公共施設等総合管理計画及び関連する諸計画を踏まえ、適正な管理と活用を推進し、公共施設を価値ある資産として将来世代へ引き継ぐため必要な施策を着実に実行してまいります。市民の皆様におかれましては、今後とも、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月

武蔵村山市長



山崎泰大

